

発 言 通 告 書

発言者氏名	西郷宗範
発言の会議	平成29年11月29日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、 <u>一問一答</u>
答弁を求める者	市 長、教育長

【件名及び発言の要旨】

1 バリアフリー対策について

- (1) まちづくりのグランドデザインにおける谷戸のバリアフリー化をどのようにイメージしているか。
- (2) 比較的平坦な地域でも、昔から市街地として形成されている古い町並みにおける社会インフラのバリアフリー化をどのようにイメージしているか。
- (3) 古くからある市街地をバリアフリー化する具体策はあるのか。
- (4) 特徴のある町並みごとのバリアフリー化対策をどのように考えているか。
- (5) 第3次実施計画にはバリアフリー対策をどのように盛り込んでいくのか。
- (6) 心のバリアフリー化として「やさしい街」「一人にしない街」とするための市民の意識共有はどのように考えているか。
- (7) 国が用意している支援制度のうち、本市が活用できるメニューの具体例を伺う。
- (8) 今後必要となる支援策を国に提案していく考えはあるか。

2 学校図書館支援センターの設置について

- (1) 学習指導要領の改訂に向けて、教育委員会はどのように情報収集し、いつごろから対応していくのか。
- (2) 図書館司書、学校司書、教師等が協議し、子どもたちに適した勉強ができるよう、学校図書館支援センターを設置してはどうか。
- (3) 補助教材を一元管理し、学校図書館支援センター等の指導のもと、教材を相互活用できる学校貸出用資料室を設置してはどうか。
- (4) 学校図書館と4つの市立図書館の蔵書を物流で相互活用できるようなシステムを構築すべきと考えるが、市長、教育長の所見を伺う。
- (5) ICTを利用した読書率の向上策として、図書の貸し出し・返却の簡素化や読書履歴が記録できるスマートフォンアプリを導入または開発することに対する市長、教育長の所見を伺う。